

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

産業建設常任委員会  
委員長 相原 孝彦

市民懇談会実施報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

- 1 開催日時  
令和6年2月1日（木）14時59分～16時44分
- 2 開催場所  
滝沢市役所 4階 中会議室
- 3 出席者  
滝沢市観光物産協会 6名  
滝沢市議会 6名  
議会事務局 1名（畑村議事総務課主査）
- 4 開催内容等（別添のとおり）
  - （1）市民懇談会顛末書
  - （2）懇談会資料
  - （3）開催の様子（写真）

# 議会との懇談会資料

令和6年2月1日

(一社) 滝沢市観光物産協会

## 懇談会出席者

### < 滝沢市議会 産業建設常任委員会 >

委員長 相原 孝彦

副委員長 柳橋 好子

委員 菅野 福雄

委員 山谷 仁

委員 鍵本 桂

委員 遠藤 秀鬼

議会事務局 畑村 瞬也

### < (一社) 滝沢市観光物産協会 >

会長 中島 恒夫

副会長 菊地 和夫

副会長 高橋 和重

副会長 今野 敏博

事務局長 菊池 文孝

事務局次長 主濱 義幸

## (一社) 滝沢市観光物産協会の課題

当協会は、令和4年4月1日「一般社団法人滝沢市観光物産協会」として新たにスタートしました。法人化に当たり名称に「物産」を入れ、グッズ販売、イベント開催及び出店、酒類販売、ふるさと納税、夏のスイカ販売、秋の「はるか」選果販売、ネットショップ運営などさまざまな事業に取り組んでいます。

また、5年間の事業計画を策定し事業を実施していますが、滝沢市との調整が必要な事案もあり、本日、これらの課題について滝沢市議会の皆様にもご理解をいただき、今後ご協力を賜りますようお願いをいたしました。

### 1 法人化後の業務増と職員の減員について

当協会は、事務局長（非常勤）、事務局次長、臨時職員、非常勤職員の4名で運営しております。法人化に伴い市の職員の兼務がなくなったことから、職員数は減っております。

馬コふれあいまつり、協会まつりなどのイベントを開催する時は市の職員の応援をお願いしていますが、観光案内所の開設のための土日勤務、イベント準備及び出店、酒類販売、ふるさと納税、夏のスイカ販売、秋の「はるか」選果販売、ネットショップ運営など通常から人員が不足しています。

常勤職員を雇うには予算もなく、補助金増が必要ですがなかなかそれも望めないため、昨年度から滝沢市に職員の派遣を依頼しています。

### 2 人を呼ぶ観光地創造のための財政支援について

これまで滝沢市は、人口増に伴う公共施設の建設等に、近年では扶助費の増加に予算が必要とされ、市の予算を大規模に観光に投資するといったことをやってきていません。

毎年、観光会社にプレゼンを行う機会が数回あります。本市では「チャグチャグ馬コ」の観光企画を作ってください、他自治体の宿泊施設に泊まってもビッグループ滝沢に無料駐車場があり観光企画のルートに取り入れてくださいなど、観光コースの1通過点としての売込みしかできない状況にあります。

他自治体から相の沢キャンプ場について、いい観光資源だと言われたことがあります。鞍掛山があり背後に岩手山もあります。コロナ感染拡大の影響によりキャンプ場の需要が増大している今、オートキャンプ場にするとか、キャンプ用品の貸し出しを行うとか、簡易宿泊施設を併設する等キャンプ場の将来像を描き投資するといったことを議論してもいいのではないのでしょうか。

### 3 特産品の開発と支援体制について

滝沢市では平成18年に「滝沢村地域産品振興方針」5か年計画で策定している。この中で「村民が推奨する“滝沢産品”をスローガンに、「やる気がある生産者、製造者等を支援する。」、「むりなくやれることから始める」を基本方針に地域産品を創出するとしています。

この方針に基づき「滝沢村地域産品振興会」が組織され、部門ごとに会議が開催され、「りんごまつり」の開催、滝沢スイカまんじゅう、滝沢スイカゼリー、滝沢りんごまんじゅう、滝沢村りんごケーキ、岩魚らーめんが開発されています。

この振興会については、滝沢村が中心となって行っていました。開発しPRしてもテスト販売、販売ルートの開拓などまで踏み込んでいませんでした。そのため、当時の議会で特産品としてPRしているが、どこで売っているのかどのくらい売れているのかわからない等の指摘を受けています。

また、5か年計画が策定された平成19年度以降、組織的な特産品の開発が途絶えています。「滝沢村地域産品振興方針」を策定した平成18年当時と比べると、当協会ではビッググループ滝沢の販売コーナ、ふるさと納税の受託、ネットショップ「チャグまるしえ」の運営など、特産品の販売経験を積んできました。実際に滝沢市の特産品を販売の経験から、新たな特産品の必要性も強く感じるようになって来ました。

そこで特産品を市内外で販売していくために連携し取り組んでいくといった組織的な仕組みを作るため滝沢市、滝沢市商工会と当協会の三者で「特産品開発連絡会」を作ることを提案しました。特産品開発に係る予算、新たな特産品の開発業者など情報共有し、定期的に特産品のコンテストを行うなど、今後活動していきたいと考えています。

滝沢市による素材の発掘、PR、滝沢市商工会の販売ルートと会員の技術力、当協会のビッググループでのテスト販売など三者が連携し、多くの特産品生み出し販売していきたいと思っています。

#### 4 姉妹都市についての考え方について（菊川市）

本協会では、毎年秋に静岡県菊川市産業まつりに出店し滝沢のりんごを売っています。また、菊川市観光協会は滝沢市の「滝祭」に出店し菊川茶を販売しています。この交流については、本市の誘致企業であるミクニが両市に工場を持っていることから始まりました。

一昨年は、菊川市長が「滝祭」に訪れ、昨年は滝沢市長が菊川市の産業まつりに参加するなど近年交流が深まっております。

こういったことからもっと深い絆を結ぶため滝沢市と姉妹都市を提携できないものでしょうか。観光物産協会の立場からはお互いにないものを販売するといった交流もできるのではないかと考えます。

# 開催の様子



## 滝沢市観光物産協会 懇談会

場所:市役所 4階 中会議室

日時:令和6年2月1日(木)

14時59分～



## 滝沢市観光物産協会 懇談会

画像